

第2回授業研究会

日 時	平成29年7月6日(木)
会 場	群馬県立高崎高等特別支援学校
教科・科目	芸術科・音楽
題 材 名	ミュージカル合唱 ～登場人物の気持ちを歌で表現しよう～
指 導 学 級	生産園芸科 2年3組
授 業 者	目崎 ちひろ 教諭

1 開会行事

(1) あいさつ

① 廣澤 秀伸 先生(群馬県高等学校教育研究会音楽部会長)

初めての特別支援開催ということで、2名の指導主事をお招きしての開催。何人の先生がくるか不安だったが、このように盛大におこなうことができ良かった。今までは年2回の授業研究会開催だったが、今回から特別支援も入れるべきだろうという考えから開催するに至った。よって、今年度は年3回の授業研究会の計画になる。

特別支援では音楽、美術、体育が主要3科目ともいえる。普通校では何事も結果が重視され、物事の本質を見失いがちである。今回の研究会では、あらためて音楽がもつ力を知ることができるだろう。普段なかなか他校の授業をみられない特別支援の先生にとって今回の授業はとても貴重なものになると思う。それぞれの学校に持ち帰って生かしてほしい。そして、「音楽とはなんだろう」を再度考えてほしい。

② 田口 智彦 先生(群馬県立高崎高等特別支援学校長)

本校は平成8年に開校した。ミュージカルはこの頃からは行っており、最初は「サウンドオブミュージック」を上演。その時は1学年30～50人で取り組んだ。その他には「キャッツ」、「ライオンキング」などを上演。ミュージカルだけではなく様々な行事をやっている。近年は「ライオンキング」を毎年上演。毎年行うことで上級生の役をやりたいと思う生徒もいる。ミュージカルは、本校の先生が中心に手作りでする舞台で、生徒の特性に合わせ、全員参加することが基本。様々な歌も取り組んでいる。

3年間で就職できるようにするのが基本。一般就労をめざす関係で冷房をつけてないところもあるのでご了承ください。

③ 島田 聡 先生(群馬県教育委員会高校教育課指導主事)

指導案にある通り、1年生では身体表現、2年生で合唱、3年生でキャストと学年ごとに役割が決まっており、本日の授業は、2年生の授業ということで合唱が取りあげられる。歌唱表現を深めるための手段として、歌詞をセリフとして読むという活動は、1年後のキャストへの段階を見据えたレディネスと捉えることができる。

中教審の答申を見ると、障害者との交流、協同的に関わっていくことは一層推進されていく流れにある。この流れの実現に向け、音楽の授業でできることは何かを考えると、既に音楽においては、表現の違い、つまり多様性について学び、それを許容することがなされている。こうした視点で見えていくと、校種の別にかかわらず、本日の授業研究会は充実したものになるのではないかと。

④ 藤生 雅代 先生(群馬県教育委員会特別支援教育課指導主事)

昨年高崎高特の文化祭でミュージカル「ライオンキング」を鑑賞した。出演している生徒の姿に感動、鳥肌が

立った。今回の授業では、その一端を見せて頂けるのが光栄である。

(2) 授業説明 (目崎教諭)

「題材 ミュージカル合唱 ～登場人物の気持ちを歌で表現しよう～」

週2時間で、今回はクラス単位での授業である。前時までに登場人物の感情を考えている。劇団四季のCDを鑑賞させ、自分たちはどのように表現すべきか考える。観点を3つ提示する。

セリフで読む意味は、歌にすると音程などに気が取られてしまうためである。スモールステップを踏ませる。表情カードを用いている。「嬉しい」、「楽しい」、「悲しい」、「怒る」の4種類である。

2 研究授業 指導案参照

3 授業研究

(1) 趣旨説明 (目崎教諭)

生徒数は8名で、農業中心の学習をしていて、意見は沢山出るクラスである。今日は大勢の人がいて緊張したようだ。うちに籠もる生徒もいたが、ピアノ披露をした生徒もいた。

セリフにするのが難しかった。真ん中の生徒に引きずられた印象はある。今の段階では、セリフにするのは早く、もっと時間を取っていくべきだと感じた。

表情を読み取るのが難しい中、表情カードは手助けになる。ツールが何も無い状態より、はるかに良い。これからも継続使用していくつもりである。

自立活動については、どの教科でも取り入れている。コミュニケーション能力の向上を図る役割もある。自分で答えを見つけるのは難しいが、CDや教員の見本を見て考えることによって、生徒にとっても分かりやすくなった。観点を絞ることや、選択肢を与えることで手掛かりになる。

合唱をひとつにまとめていくために、どのような手段を用いているのか教えて頂きたい。

(2) 研究協議

【グループ協議】

授業前に研究係から以下の2つの視点を提示し、どちらかの視点をグループで選択し、各校の現状等も踏まえながら協議を行った。

【授業研究の視点】

- 1、歌唱表現を深める手段として歌詞を台詞として読んだことは有効であったか。
- 2、曲想をイメージとして共有するために、表情カードを使用したことは有効であったか。

【1班】

視点1 歌唱表現を深める手段として歌詞を台詞として読んだことは有効であったか。

生徒の実態に合わせて行うことが大切である。歌として歌えるようになる前に取り入れると行いやすいかもしれない。

視点2 曲想をイメージとして共有するために、表情カードを使用したことは有効であったか。

有効であった。普通高校でもこうした支援が必要な生徒がいる。2択で行っていたことも分かりやすくて良い。ガズーの気持ちを考えさせるのも学びが深まるのではないかと。

【2班】

視点2 曲想をイメージとして共有するために、表情カードを使用したことは有効であったか。

カードの使用で曖昧なことを明確化することができる。また、視覚的なイメージももちやすい。感情カード4枚なのは場合によっては少ないのではないか。曖昧なものをどのように形づくっていくかを、改めて考えさせられた。段階を追って、カードの種類を増やしていければ良い。カードの使用継続が大切である。もう少し考えさせる時間をもつべきだったのではないか。生徒の発言を板書するのもひとつの方法ではないか。

【3班】

視点1 歌唱表現を深める手段として歌詞を台詞として読んだことは有効であったか。

台詞の活動はもっと早い段階で行った方がよい。歌が入ってからだと難しいかもしれない。表情カードはもっと大きくした方がよいのではないか。模造紙の歌詞、アンダーラインが大きく見えるとより良い。

CD鑑賞については、劇団四季、伴奏、カラオケのテンポが全て違った。タイミングを正しく認識させるためにもテンポは同じものの方がよい。

(質問) 生徒の意見を掘下げることは可能か？

(回答) 可能だと思う。半数で分かれて意見交換という方法がある。しかし、他クラスで収集がつかなくなった。

今回は意見交換より、「こうすればいい」と自分で認識する活動に重点を置いた。(目崎教諭)

(3) 指導・助言等

① 島田 聡 先生(群馬県教育委員会高校教育課指導主事)

「観点1」について、歌詞を台詞として読む活動は、歌唱表現を深めるために十分有効であったと考える。台詞として読むことが、歌詞の内容と表現とを結び付けるきっかけとなっていた。例えば、命令調のところは音を切るなど、生徒自身が表現の工夫へとつながっていた。その上で、クラスを半分に分け歌い聴き合うことで、自分たちの演奏を客観的に聴き試行錯誤する習慣へとつながっていた。

指導案にある各生徒に合わせた評価は、ルーブリック評価に近いものとなっている。正確な評価をするためにも普通高校での実施を考えてほしい。

また、先生と生徒の友好関係ができているため、やりとりに無理がない。目崎先生の「なぜ大きく歌うの？小さく歌うとどうなる？」という問いかけに対して、「楽しくない！」と生徒が発言する場面があった。このような問いかけによって、生徒はどのように聴かせたいか、そのためにはどのように演奏したらよいか、という思考の流れになっていく。

授業改善の視点として、生徒の意見を全体で掘り下げる場面があるといいと考える。これは校種を問わず授業に取り入れていただきたい活動であるが、考えた表現の工夫をワンフレーズでもよいのでその場ですぐに試してみる。こうすることで、楽曲にふさわしい表現の工夫であるか、ふさわしい表現の工夫であれば自分の演奏は何が必要かを振り返る学びが生まれると考える。

② 藤生 雅代 先生(群馬県教育委員会特別支援教育課指導主事)

黒板左端のカードに提示されたルーティンワークの大切さや、めあての明確な確認。大いに評価できる。先を見通せないことに不安を抱く生徒が多いため、このような配慮は大切である。

先生と生徒の関係性に関して、先生が「話してもいいですか」と言って生徒の集中を促した。集中力が散漫になりやすい生徒にはしっかりと示すことが必要である。

表情カードに関して。言葉だけではなく、文字・イラストなどを用いることでイメージがしやすくなる。また、ぼんやりしていたことが明確になるため有効である。選択しなかったものを外すのも整理されて見やすい。板書等の視覚情報を整理することも重要である。

音の高低の認識に関して。小鳥の曲などを用いて、鉄琴を黒板に貼る。「低いと変だね」などの気づきをイメージ化させる等の手立ても有効である。大切なのは、どの曲を取り上げるか、どれが最も有効なのか選定すること。

生徒たちは就労が目前である。自分を表現できる力、自己決定力をつけることが必須。音楽はその面でもとても大切である。音楽を通して社会人としての力を育ててほしい。

最後に、男女で「さん」「君」を言い分けることはこれからどうなのだろう。

③ 上田 裕信 先生（群馬県高等学校教育研究会音楽部会副会長）

評価を見ると、なかなかできない生徒もいるのかと感じたが生徒は非常に頑張っていた。口を開かない生徒も、明確な小さな目標であれば達成できる。一人一人に目を配るということを普通の高校でも大切にしてほしい。普通高校でも発達障害の生徒がいる現状がある。特別支援的な考えはますます大切になってくる。

④ 清水 郁代 先生（群馬県高等学校教育研究会音楽部会副会長）

音楽授業は雰囲気づくりがとても大切で、導入をいかにできるかが鍵。ウォーミングアップでピアノが入るのはとても良い。T2のさりげないフォローが有効であった。普通高校でも十分生かせることが沢山あった。前に出るとは勇気があるが、生徒たちはよく頑張っていた。この積み重ねが成長につながる。たとえ人数が多くても、一人一人に目を配ることが大切である。

CDの選定について。今の生徒の状態だったら、どのCDを聴かせるべきかということは教員のイメージも大切である。そして本時の頑張りを認めることが次への意欲を高める。

4 参加者（敬称略・順不同）

廣澤 秀伸（前橋西）	上田 裕信（太田東）	大熊 信彦（太田女子）	清水 郁代（二葉特）
島田 聡（高校教育課）	朝倉 康雄（前橋西）	勝山 英城（万場）	小川 唯佳（利根商）
斎藤真里奈（沼田女子）	高木 佳子（伊勢崎清明）	住谷 伴（前橋商）	坂本 将（館林女子）
饗庭 麻里（市立太田）	岡松 亮（館林高特）	前島 律子（あさひ特）	今井なおみ（前橋高特）
西田えりか（赤城特）	大沢 知栄（豊）	木部 誠（しろがね特）	北爪 優香（太田特）
力石 泉（二葉高特）	須田 玲子（渡良瀬特）	飯島 千尋（渡良瀬特）	井上 春美（藤岡中央）
藤嶋 啓子（関学附）	東 喜峰（県立前橋）	千明 昇平（西邑楽）	目崎ちひろ（高高特）
大小原美幸（高高特）	山下 美保（高高特）	萩原 美幸（高高特）	

文責：斎藤真里奈（沼田女子）

音楽科学習指導案

日 時：平成29年7月6日（木）3校時

場 所：管理棟音楽室

指導者：目崎 ちひろ(T1)、大小原 美幸(T2)

授業の視点

- 歌唱表現を深めるための手段として、歌詞を台詞として読んだことは有効であったか。
- 曲想をイメージとして共有するために、表情カードを使用したことは有効であったか。

1 題材名 「ミュージカル合唱 ～登場人物の気持ちを歌で表現しよう～」
 （「ライオンキングⅠ」より “早く王様になりたい”）

2 対象者 生産園芸科 2年3組 （8名）

3 生徒の実態

(1) 学級の実態

本学級は、生産園芸科8名で構成されている。クラス替えがあり、昨年と半分の生徒が入れ替わる形になったが新たな学級の友達ともすぐに打ち解けて、落ち着いて学校生活に取り組んでいる。日常生活における身辺処理は、細かな身だしなみや整理整頓など支援が必要な生徒もいるが全員がほぼ自立している。8名とも電車や自転車等を利用し、自力で登校している。気持ちに波があり朝の登校が遅れがちな生徒もいるが、「毎朝体を動かす」という学級目標を互いに達成しようと、声をかけ合う姿も見られる。生徒会役員として学校生活をよりよいものにしていこうと意識を高くもつ生徒もおり、その生徒を中心としながら互いに声をかけ合い学習や行事に取り組んでいる。個々の生徒は一日の流れを理解していて、各自が自立的に行動できている。

(2) 個々の実態

生徒名	【障害や学習等についての実態】	【本題材に関する実態】
A男	<ul style="list-style-type: none"> ・穏やかで大人しい性格。興味関心のあることに対しては、時間を忘れて取り組み続ける。共通の話題が見つかり慣れてくるとコミュニケーションを取るが、自分から友達の輪に入っていったり話しかけたりすることは少ない。返事や挨拶をする場面でも黙ってしまうことが多く、独り言のようにしゃべることが多い。 ・気分の落ち込みから、授業に遅れてしまう・やるべきことに手をつけられなくなってしまうことが時々 	<p>○音楽への関心・意欲・態度</p> <p>●音楽表現の技能（歌唱）</p> <p>○特定のアーティストのCDを普段から好んで聴いている。自主的に歌詞を書き写してきたり、ギターをコード弾きしたりと楽器や歌唱に対する興味関心は高い。</p> <p>●歌唱の際はあまり口を動かすことがなかったが、歌詞を覚えて曲に親しんでくると少しずつ声を出すことができるようになってきた。</p>

	ある。優先順位を伝え、声かけ等の支援が必要である。	
B男	<ul style="list-style-type: none"> 自己肯定感が低く、自分の考えや思いがあっても伝えられない・行動に移せないということが多かった。昨年2学期頃から学習や行事に対して前向きに取り組むことができるようになってきた。生徒会役員にも立候補し、学級の中心となって活躍する姿が見られる。友だちにも優しく声をかけることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○休日にはレンタルの店によく行き、自分の好きなアーティストのCDを借りてくることがあり、外出時や就寝時に音楽を聴くことが多い。 ●ミュージカル練習では、昨年度の身体表現や歌唱にも前向きに取り組む様子がみられた。歌唱に対して苦手意識や恥ずかしさもあるが、気分が乗ったときには堂々と歌唱する姿も見られる。
C男	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や作業にも意欲的に取り組んでいる。周りの様子を見て動いたり、友達を気遣って手をさしのべたりする様子が見られる。時々、意識せず相手を不快にさせるような言動をとってしまうことがあり、一つ一つの場面において適切な言動について確認することが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ○好きなアーティストのCDを買って聴く、友達と同じ話題で盛り上がる姿がよく見られ、音楽への関心は高い。 ●ミュージカルの練習では、昨年度の身体表現や歌唱にも前向きに取り組む様子がみられた。適度な声量で、歌唱できる。
D女	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活全般において真面目に取り組む、学級の仕事や教師の手伝いなど自分から気づいて積極的に動くことができる。指示理解ができていないまま、「はい」と返事をしてしまうことがあり学習や作業など手が止まってしまうことがある。わからないことがあったときに、自分から質問することに課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○休日はアニメを見ていることが多く、それに関連した曲に興味を持っている。ライオンキングのミュージカルに中学時代取り組んだ経験から、関心が高い。 ●歌唱に関して恥ずかしさも見られるが、ほぼ正しい音程で歌唱することができる。
E男	<ul style="list-style-type: none"> ・自閉症、広汎性発達障害。意味を取り違えて理解していたり、内容を理解しないまま返事をしてしまうなどコミュニケーション面での課題が多く、そのような時には行動が鈍くなる。伝えたいことをすぐに言葉にするのが苦手で、会話がスムーズに行かないことがあるが、時間がかかっても答えようとする気持ちがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○普段音楽を聴く習慣はあまりないが、授業内では積極的に取り組むことができる。 ●授業で取り組む曲に関して、堂々と大きな声で歌唱することができる。地声になりやすい。
F男	<ul style="list-style-type: none"> ・レックリングハウゼン病、低身長。気持ちが落ち着いているときには、学習や作業に取り組むことが出来る。短い時間で集中が途切れてしまうため、長時間の課題に取り組ませる際には工夫が必要である。 ・基本的な生活習慣に課題があり、学校生活や実習先でも遅刻欠席がある。気持ちが幼い部分があり、自 	<ul style="list-style-type: none"> ○好きなアーティストの話題で友達と会話する姿が見られる。Youtubeでライオンキングの曲を聴いている。 ●友達の歌唱を聴きながら、所々一緒に合わせて歌うことができる。気持ちが落ち着いているときには、楽しんだ様

	分の思い通りにならないことがあると、イライラした態度を見せ、頭を叩く・物を投げる・暴言を吐くなどのパニック状態に陥ることがある。気持ちの浮き沈みがないように配慮した声かけをすることで、少しずつ落ち着いた生活が送れるようになってきている。	子で歌唱できる。
G女	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活に前向きに取り組み、生徒会活動やクラブ活動にも積極的に取り組んでいる。目上の人に対しても礼儀正しく、友達とも男女問わず仲良く接することができる。小さい子どもへの関わりも好んで児童館でのボランティアなども行っている。 質問されたことに答えることができるが、自分が思ったことや状況を説明することに苦手意識を持っている。 	<p>○ポップスやディズニーなどの曲に関心が高く、教師のピアノに合わせて歌うことが好きである。</p> <p>●ミュージカルの合唱曲は好きで、適度な声量・ほぼ正しい音程で歌うことができる。</p>
H男	<ul style="list-style-type: none"> 人見知りな性格で自分から話しかけることが少なかったが、仲良くなった友達とは休み時間等楽しそうに過ごしている。気が緩んでくると周囲の大人に対しても言葉遣いがやや不適切なことも見られるが、前向きに改善していこうという意識が最近見られる。 	<p>○アニメや声優への関心が高く、好きな曲を歌ったり家や親しい友達の前では踊っていたりすることもある。</p> <p>●ミュージカル合唱に対しては苦手意識があるが、繰り返し歌って慣れてきている曲では少しずつ歌える箇所が増えてきた。</p>

4 題材設定の理由

昨年、開校20周年を迎えた本校では、文化祭におけるミュージカル上演が特色の一つとなっている。過去には別の演目に取り組んだ年もあったが、ここ数年は「ライオンキングⅠ」に続けて取り組んでいる。その経緯には、特別支援学校に在籍する多くの生徒の実態として、初めての場所や経験に対する不安感が大きいことがあり、高校3年間の中でスモールステップで課題を変えながら、同じ演目で見通しをもって取り組めることの良さがあると考え。

ミュージカルは、台本、音楽、演技、身体表現、舞台、衣装、メイクなどの諸要素が集まってできる総合舞台芸術である。生徒たちだけでなく教員や保護者も一体となって取り組み、本番当日を迎えるまでには様々な人たちの努力があっでできる、ということを生徒たちは学ぶ。学習するうえでは、生徒一人一人の実態に合わせて課題を設定していることも多くあり、心理的な安定やコミュニケーション面など自立活動の内容も含み、「歌う、踊る、演技する」に止まらない総合的な学習の場となり得る。生徒にとって、ミュージカルに取り組むことで得られる自信や経験といったものは、想像以上に大きいと考える。作り上げる過程では、音楽科の授業だけでなく、国語科授業での台詞読み練習や登場人物の心情を考える学習、体育科授業での身体表現の練習、そして本番の特設ステージ作りまでもが作業学習の一環として行われる。こうして、様々な領域・教科の学習を経て、本番の日を迎えることになる。

本校のライオンキングは、**1学年…身体表現、2学年…合唱、3学年…キャスト**といった学年ごとの役割をもって取り組んでいる。生徒たちは、本校に入学する前から文化祭に足を運び、実際に客席から先輩の活躍を

見ている者も多い。1年目の身体表現では、2～3つの場面のダンスに取り組み、場面の雰囲気を作る大きな役割を意識しながら、部分的にミュージカルの舞台を経験する。2年生になると、ミュージカルのすべての曲の歌唱と、効果音としての楽器演奏を担当し、物語の全体像を掴みながら場面に合わせた歌唱表現を追求する。舞台上手に置かれた合唱席から、3年キャストの演技を見て来年の希望役への期待を高める。そして最終学年では、夏休みに行われるオーディションを経て、それぞれの役に合わせソロを歌い演技に取り組む。このように本校のライオンキングは、学年ごと、場面ごと、生徒ごとにそれぞれの役割を持ちながら、大勢で一つの作品を作り上げていく。周囲の人と一つのことを成し遂げる達成感を味わい互いを認め合うことで、豊かな心と人間性を育むために適した学習内容であると考えます。

今回の授業では、10曲ある合唱曲のうち一曲「早く王様になりたい」を取り上げる。主役である子どものシンバが、立ち入りを禁止されているゾウの墓場へとお目付け役のザズーと出かける際に歌われる曲である。「早く大人になって、自由に生きたい!」と歌うシンバの心情は、大人の一步手前である高校生という年頃の彼らにも共感できる気持ちがあるからだと考える。そうした意味でも、登場人物の心情を考え歌唱表現につなげる初期段階の学習に適した題材と考えた。この曲は、1年次に身体表現として扱われる曲で、生徒たちにとっては繰り返しこの楽曲に合わせて練習を重ねてきたこともあり、自然と歌詞を覚えている生徒も少なくない。そして、ミュージカルの物語の中でも、前半に配置されているため、曲の前後の状況も比較的理解しやすいと考える。以上の理由から、本題材を設定した。

本題材は、学習指導要領音楽科の1段階(1)「いろいろな音楽をその美しさなどを感じ取りながら鑑賞する。」、(4)「歌詞の内容を感じ取って、独唱、斉唱、簡単な合唱をする。」、国語科の2段階(2)「自分の立場や意図をはっきりさせながら、相手や目的、場に応じて適切に話す。」に対応する内容である。

5 指導目標

(1) 題材の目標

- 各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて、声を合わせて歌うことができる。
- 物語と音楽との関連や、曲想とその変化などの特徴を感じ取ることができる。

(2) 個別の指導計画と本題材における個別の指導目標

名前	個別の指導計画	本題材における個別の指導目標
A男	・ミュージカル「ライオンキング」において、物語のあらすじや登場人物の心情を理解し、場面に応じた表現を意識して歌うことができる。	・場面におけるシンバの心情を感じ取り、伴奏の音楽のテンポに合わせて、慣れてきた部分の歌詞を歌唱する。
B男	・ミュージカル「ライオンキング」において、物語のあらすじや登場人物の心情を捉え、堂々と歌ったり、自信を持って楽器を演奏したりすることができる。	・場面におけるシンバの心情を感じ取り、音の入りや切り、強弱を考えながら歌唱をする。
C男	・ミュージカル「ライオンキング」において、物語のあらすじや登場人物の心情を理解し、場面に応じた表現を意識して歌うことができる。	・場面におけるシンバの心情を感じ取り、音の入りや切り、強弱を考えながら歌唱をする。
D女	・ミュージカル「ライオンキング」において、物語のあらすじや登場人物の心情を理解し、歌唱	・場面におけるシンバの心情を感じ取り、友達の歌声を聴きながら、慣れて

	表現を工夫し伸びやかに美しく歌うことができる。	きた部分の歌詞を歌唱する。
E男	・ミュージカル「ライオンキング」において、物語のあらすじや登場人物の心情を捉え、堂々と歌ったり、自信を持って楽器を演奏したりすることができる。	・場面におけるシンバの心情を感じ取り、友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱する。
F男	・ミュージカル「ライオンキング」において、物語のあらすじや登場人物の心情を理解し、場面に応じた表現を意識して歌うことができる。	・場面におけるシンバの心情を感じ取り、友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱する。
G女	・ミュージカル「ライオンキング」において、物語のあらすじや登場人物の心情を理解し、歌唱表現を工夫し伸びやかに美しく歌うことができる。	・場面におけるシンバの心情を感じ取り、音の入りや切り、強弱を考えながら歌唱をする。
H男	・ミュージカル「ライオンキング」において、物語のあらすじや登場人物の心情を理解し、場面に応じた表現を意識して歌うことができる。	・場面におけるシンバの心情を感じ取り、友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱する。

6 指導計画 (全9時間)

時	●学習のねらい	・学習活動
1 ～ 3	●ライオンキング I のあらすじを振り返りながら、曲の雰囲気や歌詞の内容を手がかりにしてそれぞれの場面での合唱パートで歌う内容を考える。	・ワークシートを見ながら、ミュージカルで歌う合唱曲を確認する。 ・昨年度の映像を鑑賞し、場面ごとの登場人物とその曲で伝えようとしていることを考える。 (語群選択肢から選ぶ。)
4 ～ 5	●「早く王様になりたい」で、曲の背景や雰囲気、登場人物について知る。	・登場人物のソロパート歌い分けを、色別シールを貼りながら確認する。 ・歌唱曲の音取りをする。 ・歌詞の言葉の意味から、声の入りや切り方について考えながら歌唱する。
6 7 (本 時) 8	●曲の背景や雰囲気を理解し、歌唱表現に活かす。	・登場人物の心情を感じながら、歌詞を台詞にして喋る。 (2人組み、グループ同士、対教師など実態に応じて) ・歌唱表現における工夫の観点(声量、響き、曲想)について、意見交換する。 ・台詞にして喋ったときに工夫した点を意識しながら、旋律をつけて歌唱する。
9	●自分たちの歌唱を客観的に聞き、表現において工夫した点など意見を共有する。	・歌唱を録音、録画し、客観的に自分たちの演奏を聴く。 ・表現上工夫した点が演奏に活かされているかどうか、意見交換する。

7 指導方針

本校の教育課程上の音楽は、週に学年合同授業（専門科のみ）一時間と学級単独での授業一時間があり、計二時間設定されている。合同授業では昨年度の映像資料を鑑賞することで振り返りながら、物語のあらすじや登場人物など、おおまかな流れを理解したうえで学習が進められるようにし、ミュージカル全体の見通しを持たせるようにしたい。

学級での授業では、その中から楽曲を1～2曲ずつ取り上げ、丁寧に音取りを行い、曲想や歌詞の内容について触れながら、ふさわしい歌唱表現を学級単位という少人数の中で意見交換しながら考える、という形で進める。

人前での歌唱には恥ずかしさを感じる生徒もいるため、キャストが歌う独唱については自ら歌いたいという意思のある生徒に歌唱してもらうよう配慮する。合わせて来年度に向けた実態把握も行う。

語彙が少ないこと、他人の表情を読み取ることに課題のある生徒も多いため、語群の中から言葉を選択できるようにしたり、カードや写真等視覚的に見て考えたりできるよう配慮する。

8 本時の学習

(1) 共通の目標

○曲の背景を理解し、登場人物の心情を基にした歌唱表現で歌唱をすることができる。

(2) 個人目標

名 前	個 人 目 標
A男	・伴奏の音楽のテンポに合わせて、慣れてきた部分の歌詞を歌唱する。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を台詞として読むことができる。
B男	・音の入りや切り、声量を考えながら歌唱をする。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を、読む速さや声の大きさを工夫しながら台詞として読むことができる。
C男	・音の入りや切り、声量を考えながら歌唱をする。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を、読む速さや声の大きさを工夫しながら台詞として読むことができる。
D女	・友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱する。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を台詞として読むことができる。
E男	・友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱する。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を台詞として読むことができる。
F男	・友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱する。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を台詞として読むことができる。
G女	・音の入りや切り、声量を考えながら歌唱をする。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を、読む速さや声の大きさを工夫しながら台詞として読むことができる。
H男	・友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱する。 ・歌詞の一部を台詞として読むことができる。

(3) 準備

・ワークシート、拡大歌詞カード、場面ごとの写真資料、表情カード（喜怒哀楽4種類）、劇団四季CD

(4) 展開

時間	学習内容 (生徒の活動)	教師の支援及び留意点	関連項目	評価の観点
10分	<p>[導入]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、出席確認 ・本時の学習内容を確認する <ul style="list-style-type: none"> ・リズムうち ・ウォーミングアップ 	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって授業に取り組めるよう、学習内容を提示する。 ・学習への意欲や集中力を高め、リズムの感覚を育むために毎時間行う。 	自立活動 3 (4) 5 (5) 学習領域 3 1	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話す内容に注目し、本時の活動の流れを理解しようとしているか。
30分	<p>[展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・役ごとの心情を、ワークシートを基に振り返る。 ・CD鑑賞して、3つの工夫する観点について考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><観点></p> <ul style="list-style-type: none"> ○声の響き (明 or 暗) ○声量 (大 or 小) ○曲想 (なめらか or はきはき) </div> <ul style="list-style-type: none"> ・シンバソロと合唱パートの歌詞を、台詞にして読む。(T1 ⇄ 生徒) ・旋律をつけて歌唱する。(合唱パートのみ→ソロ入り一曲歌唱) 	<ul style="list-style-type: none"> ・役での心情をイメージしやすいよう、表情カードを提示する。 ・歌唱表現につながる観点に意識を向けて鑑賞できるように、予め3つの観点を提示・説明する。 ・意見が出にくい場合は、教師がそれぞれの歌い方について範唱し、判断を促す。 ・台詞読みの手本を示す。 ・T1が台詞読みに加わることで、手本を示しながら活動が進められるようにする。 ・複数の生徒で読みあうことで、自信を持って活動に取り組めるようにする。 ・合唱部分を歌唱する際は、ピアノ伴奏で行い部分的に歌唱できるようにする。 ・ソロパートは生徒の希望にあわせて配役し、台詞読みでの工夫を活かして歌唱できるよう声をかける。 	自立活動 3 (2) 4 (5) 学習領域 5 2 9 3 4	<ul style="list-style-type: none"> ・工夫する3つの観点について、自分の意見を発言(または挙手)できたか。 ・歌詞を台詞にして読み、工夫した表現で歌唱できたか。

10分	<p>[まとめ]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工夫した点について意識して歌唱できたか、自己評価する。 ・挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの観点に沿って、生徒の意見や挙手を促す。また、自分の言葉で言える生徒には感想を発表してもらい、意見共有できるようにする。 	<p>自立活動3 (4)</p> <p>学習領域 5</p> <p>3 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・直前の歌唱を振り返り、感想発表や挙手ができたか。
-----	--	---	---	---

(5) 評価

名前	評価
A男	<ul style="list-style-type: none"> ・伴奏の音楽のテンポに合わせて、慣れてきた部分の歌詞を歌唱できた。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を台詞として読むことができた。
B男	<ul style="list-style-type: none"> ・音の入りや切り、強弱を考えながら歌唱できた。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を、読む速さや声の大きさを工夫しながら台詞として読むことができた。
C男	<ul style="list-style-type: none"> ・音の入りや切り、強弱を考えながら歌唱できた。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を、読む速さや声の大きさを工夫しながら台詞として読むことができた。
D女	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱できた。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を台詞として読むことができた。
E男	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱できた。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を台詞として読むことができた。
F男	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱できた。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を台詞として読むことができた。
G女	<ul style="list-style-type: none"> ・音の入りや切り、強弱を考えながら歌唱できた。 ・登場人物の気持ちを理解して、歌詞の一部を、読む速さや声の大きさを工夫しながら台詞として読むことができた。
H男	<ul style="list-style-type: none"> ・友達の歌声を聴きながら、慣れてきた部分の歌詞を歌唱できた。 ・歌詞の一部を台詞として読むことができた。

(6) 配置
基本位置

